

伸ばすところ

環境

- 湖岸の自然環境
- 自然環境
- のどかな田園風景
- 景色が良い

- 子供の増加(人口増加)
- 子供が多く活気がある

コミュニティ

- 近所づきあい
- 隣近所のお付き合い
- 住み心地が良い

福祉

- 高齢者に対する思い(対策)
- 医療機関が多く安心感がある

高齢者の楽しみ

- 地域サロンを充実させる参加者増へ
- 高齢者の楽しみ
- 高齢者の集いの場づくりを増やす

変えたいところ

行政

- 防災意識の向上
- 都市計画に対する(道路)高齢者、障害者を考えて
- 道路幅(低木)を無くす
- 道路幅の確保
- 市の広報誌が読みやすい

子ども

- 子供とかわりたいたいが、そういう機会がない
- 子供が少ない
- 子供の登下校時の見守り隊の「充実
- 安心して遊べる公園

担い手

- 自治体の中でサポーターを作る(高齢化等でサポーター役出ない人が増えている)
- 行政(地域)サポーターの育成
- 担い手が少ない
- 町内会等役員(担い手)
- 農業の担い手を増やす
- 人間関係の希薄化
- コミュニティ希薄化

福祉

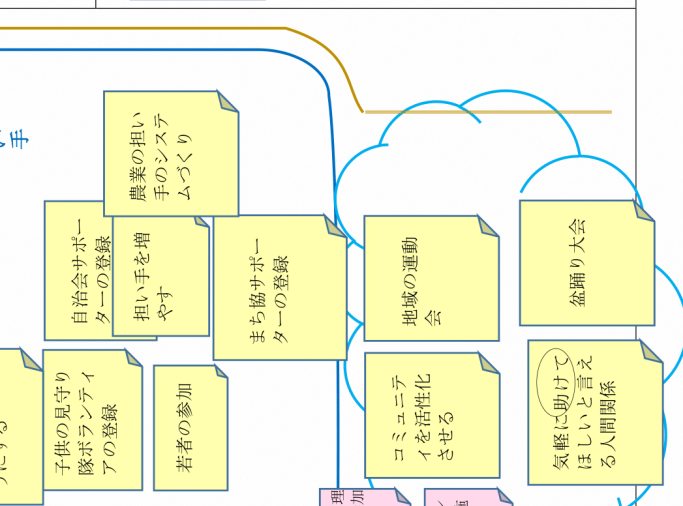
- 住民にまち協の存在価値を知らってもらう
- まち協の活動の理解と行事への参加者を増やす
- 魅力あるイベントを企画・実施する
- マルファクの対象年齢の底上げ

まち協

進めたいこと

- 交通手段
- 生活に直結する医療・買物・駅の交通が不便である
- 空家の雑草の処理
- 市街化調整区域の活性化
- 交通(バス)路線(まめバス)等
- 通学路、市道、県道の道端の定期的な草刈り、管理
- 空き家をなくしていく
- 都市計画
- 防災計画策定
- 防災訓練

担い手



行政がやること

地域でできること

- 町内会での個人情報収集
- 町内会で担い手づくり
- 高齢者の見守り
- 町内会のつながり → 学区へ (まち協)

4 老上中学校校区

1 実施概要

日 時	令和元年7月27日(土)午後2時～
場 所	草津市立老上小学校1階 多目的室
参 加	老上中学校区 ○老上学区 参加者：10名 ワークショップ：Aグループ、Bグループ ○老上西学区 参加者：6名 ワークショップ：Cグループ
次 第	(1) 開会 (2) 草津市の総合計画について (3) ワークショップ (4) 閉会

2 議 事

(1) 開 会

- 課長あいさつ

(2) 草津市の総合計画について

- 資料に基づき説明

【質疑応答】

質問 都市計画マスタープランとの兼ね合いをどのように考えておられるのか。

今まで工業地域で予定していたものが急に住宅地になったり、工業地区の中に農振の場所がある。

回答 総合計画が最上位計画ですので、総合計画に基づいて、都市計画マスタープランが策定されることとなります。都市計画マスタープランは、土地利用など都市計画の分野で策定されるものになりますので、総合計画との関係性がよく表れているのは、基本構想のP.25を見ていただくとまちの構造があります。これは市を大きく3つの区分に分けてこれからの土地利用を表したものになります。こうした大きなまちの構造を示した中で、都市計画マスタープランが策定されます。現行の都市計画マスタープランは、総合計画と同様に、令和2年度

で計画期間が終了します。第6次総合計画を作るにあたり、まちの構造を大きく示し、そのあとに地域の方々の御意見をお聞きした上で、さらに細かな土地利用を示す都市計画マスタープランが策定されます。

(3) ワークショップ

○草津市の特性と課題、これからの取組の方向をつくり上げていくために、「伸ばすところ」、「変えたいところ」、「進めたいこと」、「行政がやること」、「地域でできること」についてグループごとに話し合い、導き出していただきました。

①意見概要

グループ	概要
A	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、交流として、充実したまちづくり居場所づくり、交流を広げていきたい。地域間の交流が少ない。マンションとの交流が少なくなっている。高齢者の集まる所が少ない。発展として、工場誘致が少ない、文化、学芸都市としての発展が少ない。南草津西口を活気のある街にせよ、夜は特に寂しい。大学生が夏休みになると寂しい街になっている。買い物時の西友くらい。夜女性一人では歩けない状況にある。 ・変えたいところは、道路整備・インフラ整備が少ない、公園・緑化の面に力を入れて、公園を整備していきたい。一級河川に砂の堆積が見られるので、その浚渫を行う。これは防災の役に立つのではないか。まちへの行事への参加が年々減っているのではないか。家を建てずに、もっと多目的ホール的な物を造ったらどうか。JRへのおねがいになるが、南草津駅のホームを広くしてほしい。駅前広場を広くしてほしい。朝の混雑。南草津駅は、滋賀県でトップの乗降客（6万人）である。2位が草津駅（5万8千人）。立命館大学の学生がいるから活気がある。移動手段がない。まめバスも含め福祉に対して少し冷たいのではないか。きめ細やかなまめバスの運行をお願いしたい。 ・進めたいことは、南草津駅前の整備。南草津駅周辺が計画の中に、賑わいのあるまちとなっているが、行政機関が一切ない、行政施設が一切ないのが南草津駅の西側地区です。プリムに1千戸立つがその中にも行政機関が一切ない。ホールであるとか地域の交流の場がもっと行政の方で推進してほしい。伸ばすところで地域の交流ということが出ていたが、どのように交流を深めたら良いか、高齢者も含めて、イベント（まつり）、敬老会、ふれあいまつりそういったものが交流を深めるために必要ではないか。しかし、そこに行くための移動手段がない。そのために何が必要かとなるとまめバスの充実、小型バスの充実が高齢者に対して必要。 ・行政のやることは、ハコものホールを造るとかを行政の方でやっていただ

	<p>きたい。新しい住民が増えている中で、昔から住まわれている方から新しい人を受け入れにくい体制が旧の町内会であるのではないか。その辺を、市の方から町内会の加入であるとかを指導していただきたい。地域色が強すぎるからなかなか入っていけない面もある。市から町内会に入ってくださいとか、このようにしたらどうですかとか、旧町内会に対してこういう風に指導してあげてくださいとかいう意見を、行政の方からやっていただくことがあるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でできることは、つながりを持てるボランティア活動、いわゆるまつりの主導権を持っていくことによって、つながりができて、交流が深まっていくのではないか。深まりをするがためのイベントを開くために、行政として何らかの支援金を頂けないか。そしてそれが大きなイベントにつながっていくのではないか。行政と地域がタイアップし、地域の意見を飲んでいただいて草津市行政がやっていただく、そして車の二輪のように進めていくのが、地域と行政のやることではないか。
<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マクロ論議で時間を費やしてしまい、細かい部分が話されていない状況でした。 ・地域でできることは、今のところ何もなかったのですが、それはその入り口まで達していないということです。地域に個性があり、入って共有すべき部分もあれば、そうでない部分もあり、一体化できていない。将来的には横のつながりがあれば良いのではないか。 ・行政のやることは、歩道橋の整備 通学路の信号の時間が短い、子どもたちが横断するのにもう少し時間を伸ばしてほしい。歩道橋のあるところでは、使用されていないことがある。再整備等も必要ではないか。南草津駅周辺ということで、にぎわい拠点として、草津駅周辺、南草津駅周辺が2台拠点として挙げられているが、今は住宅優先で賑わいの拠点とは言い難いので並行して進めていただきたい。避難所設備に関しては、実際に場所の指定はされているが避難した際に対応ができるのかが疑問である。地域ができて30年、40年になってきており、上下水道管等の老朽化があり、建て替え等されたところから部分的に更新されている。下水道管、水道管の計画的整備をお願いしたい。 ・変えたいところは、交通事情・道路整備関係、住宅開発がより進む中で、工事するだけでも渋滞が発生している。現実的に、全てが完成した段階でこのままで良いのか、その計画が耳に入ってこない。一部の話はあるが、それが果たして全体的な解決になるかという論議は、されていないのではないか。明確化、先行した改善をお願いしたい。コミュニティ施設の増設・新設として、人の増加に伴う諸々の施設が不足、住んで要望が出てするのではなく先行して整備をお願いしたい。市・学区での交流も大事だが、地域の小さい交流の持ち方、見直しも必要ということで、当然地域にも歴史があり、やり方があるため、入り込めない部分もあれば、参考にで

	<p>きるものできないものもある。まち協が作るのか、地域の代表がやるのか、市・行政の指導のもと、イベント等の計画の中で浸透を図るのか、話し合いの場・意見交換的な場も必要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、買い物しやすい、便利ということですが、これからのことを考えるともう少し一体化した建物もできると良い。人が増えることによる公園等施設の充実。イベント時の渋滞があるので他変転用も絡み合わせその対応も考えていただきたい。一級河川に見合う整備が必要。今の大雨に対する対応が不安である。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、観光開発として、湖岸の散歩道。群馬県の草津との違いをアピールしている（市長が）もっと広報活動を知名度アップ。草津駅にて近辺の史跡ボランティア土日ありますが平日も増やしては。「あおばな」だけではなくインパクトのある特産品を作っていくと良いと思う。環境保全として、琵琶湖を主とした環境保全と市民の共生。交通網の整備。教育として、教育機関（立命大等）との連携強化。教育関係のOA化。学校教育で国を大切にする教育。人権として、人権を大切にする取組。高齢者・子ども・福祉として、災害要支援者の実態調査の充実。子育てサロンが充実してきた（若い世代の参加が増えてきた）。まちづくりとして、地域を代表する団体における地域自治が挙がっています。 ・変えたいところは、道路網の整備として、幹線道路を整備する。交通（特にバス路線）。JRをくぐる道幅。浜街道の道幅を大きく歩道が必要。平面の道だけではダメで立体交差を取り入れる。右折ラインを作る。交差点 矢橋中央 矢橋北。公共交通の利便性。まめバスを老西にも復活させる。計画的な開発として、乱開発を止める。秩序ある開発。計画的な宅地開発。小規模な事業主が継続できる取組。（びわ湖岸）浜辺のレジャー利用。他県の方が集まる仕組みづくり。学区の区割りをきちんとしてほしい。旧住人と新住人との交流コミュニティの充実。まちづくり支援として、まち協の行事が多い。まちづくりセンターに市の業務の一部を出張してほしい（住民票、証明書、確定申告…）。子育て支援として、児童館が不足している。安心して子育てが出来る制度構築。防災として、雨水の川の整備が挙がっていました。「そろそろ市長も交代してほしい」は、市・行政の代表・象徴としての意味で、変化を希望することであるとの発言でした。（追記） ・進めたいことは、市内の子どもが無料で遊べるような児童館の早期実現をお願いします（浜大津明日都のような）。高齢者の憩いの場所を作りたい。小学校区で学区割りが決められているが、その通りになっていない、行政がキチンと分けるべき。東西を結ぶ道路の整備。南草津駅より国道への道の立体交差。JRアンダーパスの幅を広げる。まめバスより小型のバスを運行し、こまめな交通手段を増す。下流雨水 幹線の整備。旧草津川の利用は公園だけでは不十分。近くの人だけが利用するのではなく、もっと広く多くの人利用できるように。知名を上げるために映画、TV(ドラマ)

で取り上げてもらえるようにする（スポンサーも含め）。琵琶湖を活かした観光開発。豊かな自然の維持。琵琶湖岸の公園の増設と再整備。立命館大学との連携強化、共催イベントなど。市街化調整区域における乱開発の見直し。まちづくり協議会の持続性強化。災害に強いまちづくり、共助の強化、子育て、高齢者等の手助け、ボランティアの人材育成。

- ・行政のやることは、浜街道を広げ歩道を作る。都市計画道路の早期整備。昼間の浜街道バス路線民間バスに経済的援助をしてでも増やしてほしい。特に、市役所行き、草津駅行き。タクシー会社、バス会社とタイアップし、小型のバスの運行。域内の交通と通過交通を区分する交通網の整備。市職員の削減と税の効果的支出。子育てに対する経済的支援。開発後の住宅地に町内会やまち協への加入について業者を含めて強く打ち出してほしい。まち協センターで地域と言って進め、地域のことは地域でと推し進めているが、その分の軽くなった業務は何に変わるのか目に見える形で示してほしい。まちづくり協議会が管理できる施設の増加（スポーツ施設、観光施設）
- ・地域でできることは、子どもの安全教育。まちづくり協議会の体制（組織）強化、法人化等。コミュニティを運営する人材の育成。町、会館、集会所まちづくりセンターを利用し、高齢者、子育て中のお母さんが気軽に集えるような場所づくりをする。市役所業務の中で地域に出来る業務はまち協やセンターに移す（昔の支所のようなもの…）。ボランティアの育成 “ふるさと老上”を自覚することにより、次世代が住みやすい町を作る。人々のふれあう場所を作る。次世代リーダー育成。コミュニティビジネスをのばす。

②参加者感想

- 地域の発展に関し、行政のかかわり方を再考する機会となった。
- 今日の意見をぜひ実現してほしい。勉強になった。
- 居住歴が少ないため意見を出しにくく、少し苦勞した。
- すべての時において絵に描いた餅で終わらないように進めていただきたい。すべては市企画調整課に責任があるので、よろしく願いしたい。
- 何かと難しい。
- 前にやっていたことがあるが、これからもいかしてほしい。
- 計画の参考には是非なってもらいたい。
- 普段考えてもいないことに着目させていただいた。もう少し勉強してから参加できたら良かった。
- 計画策定に役立つか否かは別にして、こういう機会は良い。ただ問題が大きすぎるかも。
- 地域のことを見つめ直す良い時間を持つことができた。
- このような形で多くの市民の意見や要望を取り入れていただきたい。
- テーマが広すぎて的がぼやけた様なディスカッションの場になった。
- 大変難しい問題だったが、草津市を考える良い機会になった。
- 理想は出るが、どこまで生かされるか。道の整備をよろしく計画してほしい。
- ワークショップをする課題として、ある程度議題を示しておいた方がより意見が出るように思えた。

③まとめ

- 伸ばすところとして、買い物するのに便利であること、子育てサロンが充実してきた（若い世代の参加が増えてきた）ことが挙げられています。また、公園施設が充実していることも挙げられています。
- 変えたいところとして、住宅開発に見合った、交通手段、道路網の整備が挙げられています。他に、コミュニティの希薄さがあり、コミュニティ施設の増設・新設が挙げられています。その中で、老上西学区では、学区の区割りをきちんとしてほしいということも挙がっていました。
- 進めたいことは、まちづくりのためのハード面の整備として、道路・交通手段・施設が挙がっていました。加えて、老上学区では、まちづくりセンター内に市民センター時の各登録を出すように（元に戻す）ということが挙がっており、老上西学区では、琵琶湖を活かした知名度アップが挙がっていました。
- 行政がやることは、ハコものハードと、助成金の支援。交通インフラと上下水道間の老朽化対策が挙がっています。まちづくり協議会が管理できる施設の増加（スポーツ施設、観光施設）も老上西学区からは、挙がっています。
- 地域でできることは、コミュニティを運営する人材、次世代リーダーの育成。高齢者、子育て中のお母さんが気軽に集えるような場所を作ること等が挙がっています。

伸ばすところ

- 充実したまちづくり
- マンシヨンとの交流を深める
- 居場所づくり
人との交流場を深める
- 地域間の交流
- 高齢者の集まる所が少ない

交流

まめバスに変わり
学区内の細かい
コミュニケーション

琵琶湖線が万
が一の時邪魔
にならないか
(通れない処
多い)

JR南草津ホ
ーム広くせよ

家を建てず
にもつとホ
ール的な物
をつくる

まちの行事へ
の参加者が
年々減る

草津川の砂が
多くなってい
ること泥が多
くなっている

緑化、公園
造成の促進、
整備

変えたいところ

早急なイン
フラ整備

道路整備の
改善

交通(手段)

南草津駅周辺
の行政機能の
充実

南草津駅周辺
の公共施設の
設置(防災広
場)

地域の交流
が行き届い
ている

狼川道路を
広げよう

まちづくりセンター
内に市民センター時
の各登録を出す様に
(元に戻す)

イベント
(まつり)
敬老会

進めたいこと

南草津駅前
の整備

市民ホール
を建てよう

ハードづくり
まちづくり

ハコもの
ハード

助成金の支
援

地域色が強
すぎない

他からの受
け入れの仕
組み

何百mmの
豪雨の際、大
草津川、大
戸川水嵩が
気になる

地域でできること

工場誘致の
促進

文化、学芸
都市として
の発展

草津西口を活
気のあるまち
にせよ(特に
夜間)

発展

つながりポ
ランテイヤ

シャトルバ
スを市で運
行してくれ
(各地域か
ら)

<p>伸ばすところ</p> <p>買い物しやすい</p> <p>買い物するのに便利</p> <p>公園施設が充実!</p> <p>みずの森公園が運動施設がある</p> <p>帰帆島の公園がすごくいい</p>	
<p>変えたいところ</p> <p>道路整備</p> <p>住宅開発に見合う道路整備</p> <p>公共交通機関バス運行路線</p> <p>南草津駅～人工島の夕方交通渋滞の解消</p> <p>コミュニティ施設の新設</p> <p>河川整備</p> <p>道路</p> <p>交通</p> <p>コミュニティが希薄</p> <p>市・学区での交流も大事だが、地域の小さい交流のもしも必要</p> <p>市民病院が必要</p>	
<p>進めたいこと</p> <p>防災</p> <p>避難所設備に関して</p> <p>下水道</p> <p>下水道の整備</p> <p>信号機</p> <p>信号機の設置</p>	
<p>行政がやること</p> <p>歩道橋の整備 ↑ 通学路(横●)の信号時間が短い</p> <p>地域が出来て40年 下水道、水道管等の計画的整備</p> <p>南草津駅周辺にぎわい拠点らしさを...今は住宅優先</p> <p>避難所、施設を整備</p> <p>地域でできること</p>	

